

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

2026 年度通常総会 補足資料

■ 様式変更に伴い資料記載漏れがあった事項の揭示

～日本ファシリテーション協会のミッションビジョン～

ファシリテーションの普及を通じて、ビジネスの分野においては、生産性・モチベーション・リーダーシップ力を向上させ、社会的な分野では、市民活動・地域経営・国際交流の質を高め、教育の分野では多面的な視点を持つ人材を育成していくことをめざしています。

ビギナーからプロフェッショナルまで、ビジネス・まちづくり・NPO・教育・環境・医療・福祉など、多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働しあう自律分散型社会の発展をめざして、幅広い活動を展開していきます。

<FAJ ビジョン 4.0>

- わくわくした気持ちを持ち寄りつながることで、多彩な志の実現に活かす場ができている
- 違うとちがうが響き合い、互いをたたえあっている
- あらゆる場でしなやかにふるまい、出番をつくっている
- 豊かな話し合いの好循環が広がり、人との関係を楽しんでいる

■ 通常総会タイムテーブル(あくまでも目安です。状況により変更となります)

時刻	内容	時間
13:15～13:30	受付開始	約 15 分
13:30～13:42	定足数確認、開会、議長・議事録署名人選出、趣旨説明、役員紹介	約 12 分
13:42～	第一号議案 2025 年度事業報告並びに決算及び監査報告について	約 20 分
	第二号議案 2026 年度事業計画並びに予算について	約 35 分
(途中休憩あり)	第三号議案 2026 年度役員の選任について	約 10 分
	第四号議案 定款の一部変更について	約 25 分
～16:10	第五号議案 会費の変更について	約 50 分
～16:45	退任役員挨拶、新役員担当紹介等 閉会	

■ 総会資料の修正について

拠点の希望により、次のとおり総会資料を修正します。

<4 頁: 中部支部>

(誤)

一般参加者が半数を超える計 76 名の方にご来場いただき、一定の成果が得られました。



(正)

全参加者は合計 76 名(一般 32 名)。スタッフ参加の一般の方を含めると、一般の参加比率は半数を超え、交流親睦の目的を十分に達成した。

<7 頁:中部支部>

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
中部支部 定例会	～ 省略 ～					
	2025/12/22	オンライン	3	14	4	削除
	2025/12/13	愛知県名古屋市 東桜会館 集会室	6	11	2	追加
	2025/12/21	オンライン	3	14	1	追加
	～ 省略 ～					
	受益対象者延べ人数 283					

■「総会議事資料に基づいた意見交換会」ご報告(Q&A 集)

「総会議事資料に基づいた意見交換会」での質疑応答を、以下の通りまとめました。

1. 第一号議案について

【質問 1】

2025 年度報告(まとめ)について、ポジティブな印象が記載されているが、理事会にて、課題や問題視されている事項は無かったのでしょうか。

【回答 1】

理事会で認識する課題は、持続的な組織運営を行えるように、毎月の理事会などで協議している内容となります。例えば、会員情報の取り扱いについて、運営における情報共有のリテラシーを高めることが組織の課題として挙げられます。

【質問 2】

P30 第一号議案にある 13 の提言について、前年度の支部イベントが少なかったのは、支部イベントの開催判断を支部に委ねていることによるものとわかった。支部イベントを開催しなかった理由を知りたい。

【回答 2】

予算適正化チームより、支部イベントは必須にしないで欲しいという提言がありましたので、2025 年度から支部イベントは必須ではなくなりました。昨年度支部イベントを開催しなかった背景は、運営の余力や方針がまともなかったなどの理由が挙げられます。今年度については多くの支部で開催予定としていることを確認しています。

【質問 3】

ニューズレター廃止の決定プロセスや理由が不透明なため、もし一般公開などの前向きな目的があるのなら、その背景をきちんと説明してほしい。

【回答 3】

広報委員会より、「会員限定のニューズレターという発信の仕方をやめ、一般の人にも見せられるものにした」という希望がありましたので、その希望を受け、現在のファシリテーション通信という形になりました。

ファシリテーション通信は、今後、会員の便益という面も残しつつ、広く一般にも公開していく予定です。

【質問 4】

コロナ後に収支のバランスが悪くなった原因とは？

【回答 4】

コロナ禍で収入も支出も減り、その後収入は戻らないが支出がコロナ禍前の水準に戻ったため、収支が悪化しています。

【質問 5】

2025 年度決算が黒字になったことについて、会場使用料が減ったなどの説明がありましたが、具体的にいくら減り、また、それは FAJ の活動に寄与しているのでしょうか(会員が参加できないなどの不利益になってはいませんか?)

【回答 5】

各事業の会場使用料の減については、総会資料 P.18 をご覧ください。このことが会員の活動や参加の制約になったとは考えていません。

【質問 6】

1 万円以上の交通宿泊費の持ち出しはどれぐらいなのか。

【回答 6】

東京地域など、宿泊費の高騰した地域で発生している可能性はありますが、経費精算時にはそれら情報を把握できないため不明です。

【質問 7】

租税公課が高くなった原因は何でしょうか？また、こういう現象は今までになかったことなのでしょうか？

【回答 7】

日本ファシリテーション協会は、一時的に、課税売上(会費以外の対外収入)が 1 千万円を下回って、免税事業者となっていた影響で、2024 年度は消費税がゼロでした。その後、課税売上が 1 千万円を上回って、2025 年度から課税事業者となり、2024 年度分の消費税を今年度に納め(84 万円ほど)たため、今年度の租税公課として計上しています。また、消費税の額が 48 万円を超えると、中間納付の必要があり、2025 年度は 42 万円の間納付をしています。合計、126 万円ほどが、昨年度よりも増加となります。結果として、納税基準で処理をしているため、1.5 年度分の消費税の計上をした形となっています。

2. 第二号議案について

【質問 8】

組織運営にかかわる活動について、①ミッションに関わる記載、②ビジョンの記載、③ロジックモデル(エンジンモデル)関係の記載が無いが、それらの理由は何でしょうか。

【回答 8】

ミッション、ビジョン 4.0 については、補足資料に掲載いたします。エンジンモデルについては FAJ ホームページでも掲載しているものではないので、今後協会内外への伝え方についての検討課題といたします。

【質問 9】

会員が自ら社会課題の解決に向け、ファシリテーションを使って、一歩踏み出すことを後押しすることは、素晴らしいと思います。その為の支援として、FAJ がこんな仕組みを準備しているという計画内容が知りたい。

【回答 9】

具体的には、支援・助言事業や協働促進事業について、総会資料 P.20～に事業計画がありますので、ご参照ください。

【質問 10】

2026 年の計画のところ、あまり変わらない感覚。昨年度の活動とどう違うとか、やり残したことなどを比較して、何をやっていくのか？というのを知りたい。

【回答 10】

FAJ のミッションに変化はないので、毎年の計画は大きく変わることはありませんが、来期も各会員が様々な活動を行う予定で、理事会はそれを後押ししようと思っています。

【質問 11】

収入の比率の変化(ほかのどの様な収入があるのか?)グラフの見え方がはっきりしない。

【回答 11】

収入の内訳は、会費収入約 40%、セミナー40%、ファシサポ 16%、支部 4%となっています。

【質問 12】

2025 年の予算は赤字で実績は黒字だが、2026 年も同じように予算は赤字で実績は黒字になると思うか？

【回答 12】

同様の傾向になる可能性はありますが、それを期待した予算とはしていません。

【質問 13】

コストの要因などの支出について理解したが、収入を上げる議論はされているか知りたい。

【回答 13】

今後、会員の皆様ともこの問題意識を共有しながら、一緒に効果的な方策を考えていきます。

【質問 14】

東京支部予算案について、交流親睦事業費が 0 円とは、計画にある開催予定と矛盾していないか？

【回答 14】

予算策定のタイミングと事業計画のずれについてですが、当初実施の予定はありませんでしたが、検討の結果、実施の方向になったと聞いています。

【質問 15】

交通宿泊費はどこが、誰が、いくら使うか。どこが一番使っているか？

【回答 15】

教育普及事業、支援助言事業などで多く使われています。ただし、それに伴う収入もあることに留意が必要です。

【質問 16】

全ての繰越金がなくなったら、具体的に会員の活動がどのようになるのでしょうか？

【回答 16】

収入の範囲内での活動となります。ただし、支払不能にならないような考慮が必要となるため、活動はかなり制約を受けることが予想されます。

【質問 17】

予備費として、内部留保の 10%を計上することになったのはいつからでどのような経緯か？

【回答 17】

2026 年度からの方針となります。突発的なことがら(例:システムダウン、災害発生時)の支出を可能とするためです。10%の根拠は、10 年間は活動を止めずに支援を続けることを想定したものです。

【質問 18】

事業予備費は来年度以降も積み続けられるのでしょうか？

【回答 18】

はい、内部留保の 10%を目安に積み続けます。

【質問 19】

内部留保の適正水準はいくらぐらいかについては、会費値上げを検討する前に議論すべきことがらではないでしょうか？いつ、その水準を検討されるご予定ですか？

【回答 19】

内部留保の問題と、会費収入の問題はそれぞれ別の問題という認識です。どちらについても今後検討が必要と考えています。なお、理事会では内部留保を積み上げていくという考えはありません。

【質問 20】

内部留保 3,000 万円は多すぎないか？会員の人数が減ってきているのにそのままの額はどうか？

【回答 20】

総会資料 P.47 にありますが、理事会において、内部留保の適正額について検討を進めています。

3. 第三号議案について

【質問 21】

理事候補の人数 9 名は妥当と考えているか？年度により若干の増減があるので、2026 年度の人数の妥当性の見解を教えてください。

【回答 21】

根拠が明確にあるわけではありませんが、従来の経緯や理事会に携わっている感覚では、10 名が妥当ではないかと考えています。就任を依頼しましたが、お断りされたこともあり、今年度は 9 名となりました。

4. 第五号議案について

【質問 22】

会費の値上げは収支のバランスを取るためであることは理解しています。この提案に至るまでにどのような案を検討しましたか？

【回答 22】

収支均衡予算を目指し、2024 年度に予算適正化検討チームで議論をいただき、コストカットに取り組んできました。経費を可能な限り削減した後に、今回の会費値上げを検討したという経緯です。

【質問 23】

会員数のシミュレーションについての意味は理解しました。現在の案で行くということについては、理事会としては肚をくくっている覚悟ですね？

【回答 23】

はい。ご認識の通りです。

【質問 24】

会費の値上げの理由として、現在の印象では「仕方が無いという消極的、後ろ向き」に感じます。FAJ にとってのプラスの方向性、例えば、新しい投資に協力してほしいといったストーリーであれば会員としては幸せに感じるのですがいかがでしょうか？

【回答 24】

総会資料 P.46 にお示ししているとおり、会員がやりたい活動をきちんとできるようにすることが方向性の 1 つだと考えています。

【質問 25】

新規入会者数のシミュレーションはされたのか？

【回答 25】

会員数の予想は大変難しいのですが、入退会者数の変動についてシミュレーションを行いました。

【質問 26】

現時点での会員数とこれまでの推移を教えてください。現在の予算案では会員収入が1千万円となっているが、それは会員数が 1,000 名であればそうなる。しかし現在の会員数は、新システムに移行後、会費納入済みが 730 名、未反応が 200 名で、合計 930 名であり、70 名足りないです。

【回答 26】

会員数推移は総会資料 P.43 のとおりです。予算策定時、会員数を 1,000 名と見込んでいたものです。

【質問 27】

若年層の方がもっと入りやすい金額にしたほうが良いのではないのでしょうか？今、FAJ は高齢化していると思えるのですが、会費が上るとさらに高齢化が進むのでは？と思いました。どのように、そのあたりのことをお考えでしょうか？

【回答 27】

今回の値上げ検討において、年齢的な視点での新たな議論は行いませんでしたが、若年層の参加推進は重要な課題として認識しております。そのため、次世代を担う学生会員の会費につきましては、現行通り「半額」を維持しております。

【質問 28】

賛助会員とは何か？

【回答 28】

次の2点が正会員と異なります。①総会の議決権がありません ②理事になることができません
それ以外は、定例会参加、イベントへの会員価格での参加、運営委員になることができる、など含め、正会員と全く同一の権利を持っています。

【質問 29】

そもそも賛助会員の設定があった理由がわかれば教えてください。なぜ、これまで議決権がないのに賛助会員の会費が高かったのかとか、経緯がわかれば知りたい(過去の話なので、分からなければ OK です)

【回答 29】

設立当初からの設定のため、直接の経緯を知ることはできません。

【質問 30】

予算適正化における提言では、賛助会員の会費の値上げは行わないはずだったと思うが、なぜ今回、値上げを行うのでしょうか？

【回答 30】

予算適正化における提言では、賛助会員の会費の値上げについては触れられていませんでしたが、見直しについては言及されています。物価高の現状においても、活動を充実させるために、賛助会員の会費を13,000 円に設定しました。

【質問 31】

現在は、賛助会員がいないにもかかわらず、シミュレーションで賛助会員を多くしているのはなぜか？

【回答 31】

シミュレーション上、賛助会員の数が多い(収入面からは厳しめ)の想定で考えています。ただ、今後も、多くの方に正会員として FAJ のあり方に関与いただきたいと考えています。

【質問 32】

P47 今後の取り組みについて、①会員を増やす策の検討と実施はどのように進めるのだろうか？

【回答 32】

総会資料 P.47 にありますが、今後、会員の皆様と共に、効果的な方策を考えていきます。

【質問 33】

会員増の具体的な方策を教えてください。

【回答 33】

総会資料 P.47 にありますが、今後、会員の皆様と共に、効果的な方策を考えていきます。

【質問 34】

会費を払っているのに定例会に来ていない人が一定数いると思うが、何%くらいを占めるのか。これらの方は脱会予備軍と言えると思います。

【回答 34】

ご質問のデータは持っていません。

【質問 35】

脱会防止戦略は考えているのだろうか？持っているコンテンツ(人・もの・他、リソース)を使えばいいと思う。

【回答 35】

定例会コンテンツの内容充実や効果的な広報のあり方など、会員の皆様が持つノウハウやネットワークも含め、一緒に取り組んでいただきたいと思います。

【質問 36】

『ぜぶらる』のログインの煩雑さによる退会で試算が狂う懸念はないか。また、実際に会員減少した場合の対応策を教えてください。

【回答 36】

そのような人が生じないよう、事務局を中心に働きかけを行っています。会員のみなさんも周りの方へのお声がけをお願いします。会員が減少した場合の対応も今後、会員の皆様と課題感を分かち合い、一緒に効果的な方策を考えていきます。

【質問 37】

無料会員のような制度ができると聞いていますが、相当量の現会員がそちらに移行することも考えられると思います。会員減の見込みにはそのファクターも考慮していますか？

【回答 37】

ファシリテーション通信の連絡を受け取ることのできる、新会員管理システムのビジターのことを指していると認識しましたが、当該区分の方は、定例会参加においては非会員と変わらないため、特別な影響はないと考えます。

【質問 38】

P47③運営スタッフのモチベーションの施策の検討とは？何をするのだろう？

【回答 38】

総会資料 P.47 にありますが、今後、会員の皆様と共に、効果的な方策を考えていきます。

【質問 39】

協働促進との会費値上げとの意味付けが、いまいち見えない。どういう意味を持つのか？

【回答 39】

新しい活動(直近では協働促進プログラム委員会など)が生まれることで、必要な経費が増えています。協働促進プログラム委員会が会費値上げと直接関係しているわけではありません。

【質問 40】

改正後の会費の妥当性について 2027 年度、2028 年度で確認をする予定はあるのか？

【回答 40】

毎年の予算策定時などで確認をして行く予定です。

【質問 41】

定例会において、一般の方の参加費はいくらか？それを上げることは考えたか？

(例)中部 2 千円、関西 3 千円

【回答 41】

非会員が定例会に参加する際の金額については、支部にて定めており、理事会としては支部の考えを尊重しています。

【質問 42】

年会費以外に、例えば会場費を徴収するなど、実質的な値上げを行う予定はありますか？

【回答 42】

理事会で検討しているのは会費のみです。会場費徴収などは各拠点にて定めています。

【質問 43】

会費値上げの話の時に、会員管理システムの手数料を入れた金額の実質の数字を鑑みて議論したのか？

【回答 43】

会員管理システムの手数料は協会負担にしており、会員の会費に手数料が付加されることはありません。

5. その他

【質問 44】

コストカットと会員減に対するシナリオはどのように描いているか。会員増、ファシリテーターの質を上げるなど今後の舵取りをどう考えているか？

【回答 44】

会員増、ファシリテーターのあるべき姿や質の向上など、協会の今後の方向性については、会員の皆様にも当事者として加わっていただき、一緒に効果的な方策を見出していきたいと考えています。

【質問 45】

企業で使われるファシリテーションへの支援(儲かるファシリテーションやファシリテーションの新サービス)をすべきと考えているが、そのような考えを持っているのか？

【回答 45】

今後、会員の皆様のお知恵を借りながら、効果的な方策を考えていきます。

【質問 46】

定例会で会員増などの課題を取り上げて欲しいなどということを、理事会から会員に向けて当事者として考えることを促すことを理事会は検討したか？

【回答 46】

来期以降検討していく予定です。おっしゃる通り、すべての会員が当事者として考えていただくことは大切と考えていますので、会員の方が自分事として捉えられるよう、働きかけを考えたいと思います。

【質問 47】

メルマガメイト？(非会員向けの広報媒体)の導入に際して FAJ 公式の全体 ML の運用が変わるのか？

【回答 47】

今後、FAJ 公式 ML は、会員管理システムからの発信に移行する予定です。

【質問 48】

この会以外にどのような総会資料説明会を開催しましたか？

【回答 48】

リアル 4 回オンライン 4 回と、例年より多めに実施しました。

6. ご意見(意見交換会の中で、以下のようなご意見をいただきましたので、ご紹介いたします。)

- 次年度の委員長や支部長を拝見すると、FAJ 歴の長い方や理事経験者もおられ、新陳代謝になっていないのではないだろうか。
- 賛助会員の理事就任を不可にすれば、さらに理事のなり手が減るのではないでしょうか？累計 5 年規定を見直しが必要ではないだろうか？
- 災害復興のために会員が会費を払うのはいかなものか？
- 会員システムが変更できたのは素晴らしい進展だ。イベントが2-3月に集中せずに済む。
- 収支改善について、会費の値上げだけでなく、公益性に資する活動を受託しに行くことを考えられないか。(積極的に受託する)基礎講座を行政などの組織へ働きかける活動もあり得るのでは？
- ファシリテーションは儲かるといった方がわかりやすいが、社会課題解決などを標榜する方が難易度が高いと感じる。基礎講座がシュリンクしている中では、社会課題の解決を訴える切り口では会員は増えないのではないか。かつては、パナソニックなどのビジネスパーソンが多かった。熱がある議論がされていないと感じる。
- 収入の安定化という事も考えたか？会員減少のさなか、数年後にはまた、お金が足りなくなるのでは。今後のことを考えて、新たな手筈を考えたらどうか？
- 総会に出席できない人が増えるという想定(賛助会員が 60%)は不思議な感じがする。
- 会員増を考える場合は、現状分析をして、ターゲットを決めてやってほしい。
- 会員数が徐々に減ってきている理由の問題意識は？会員同士きちんとしゃべれるようになろう。問題を

先延ばしにしているいいことはないが、そこは話し合って解決していきたい。

- 議決権を会員が手放すことが進んでいっても、活動に支障はないか？
- 賛助会員はお金だけで支援するので、正会員より高くしていたのではなかったか？ 今度の方策は、NPO 活動に責任を持たない会員を増やそうとしているように見える。
- 賛助会員を設ける意味がないと思う。
- 賛助会員の位置づけが明確ではないように感じる。「研究会員」という名称はどうだろうか？
- 「賛助会員は理事になれない」とするならば、もっと丁寧な説明や解説が必要だと思う。現在の定款では賛助会員でも理事就任が可能である。
- 賛助会員の増加は「教える／教わる」が強化されることにつながる。また、正会員が増えないことは、新陳代謝がなくなることにつながり、理事や支部運営の担い手が少ない現状、さらに運営が厳しくなるのではないだろうか。
- (賛助会員が 2 万円だった背景として)かつて FAJ は企業社員が多く、議決権などの義務がない賛助会員の方が企業も出しやすかった背景があったと考える。
- 会費の値上げについては、会員のやりたいことを各々出してもらって、それを実現するための費用と捉えたほうが良いと思う。
- 会費の値上げの実行について、予算適正化の会合においては、収入増に関する議論は行っていない。収入増に関する議論(会員のやりたいこと)を行ってからの方が良いのではないだろうか。
- 人数が減っているのに、会費を上げて大丈夫か？ 懸念する。
- 定例会は会員がやるもの。だとは思いますが、ある程度の質と量は比例すると思うので、出来ればあと一年様子見にして、値上げを伸ばしてもらいたい。
- いろいろ制度も変わるし、値上げもするし、では大変だと思うので、一年間の値上げのタイミングをずらしたらどうか。
- 会費の値上げはしかたない。サロンや支部の定例会の回数を増やして欲しい。
- 一般参加者(非会員)の定例会参加費は現状よりも値上げし、会員の便益を図るべきではないだろうか。
- 東京などの定例会でも参加者が平均すると 10 名程度なのは驚いた。
- お金について議論するのは良いことだが、やりたい活動を実現できない原因は『お金だけ』なのか、また活動を増やすほど費用も増え続けるのではないかという懸念がある。
- 会費の値上げの根拠より、どうなっていきたいという希望の話をしてもらいたい。
- 総会出席の意志表明は何%？
- FAJ 創業期のファシリテーターが積極的に関わっていた頃に比べ徐々に衰退していると感じている。
- 会員コメントで、13 名しか反応がないのはびっくりした。
- 支部イベなどでコストがネックとなり呼びたい人が呼べないことで学びや活動に支障が出ていることはないか。FAJ が目指している根本を忘れていないだろうか。それが会員が減少している要因と思う。質を向上するために会費を値上げすることは良いと思う。
- 資格制度をやらなかったことの結果だと考える。他の NPO などの団体では出版事業を行うことが多いが、FAJ ではフェローなど知見のある人がそれをしていない。
- 総会資料説明会はとても FAJ らしい試みたと思う。
- 今後の試み3つ楽しみだ。年度もあと少し、できるだけ早く KPI(Key Performance Indicator / 重要業績評価指標)を教えてほしい。
- 選択できるように会員と賛助会員の定義を調べられる様にしてほしい。
- 近年の理事会、総会はどうもこの財務に関するメッセージが強烈すぎて、本来 FAJ が何をすべきなのかのメッセージが聞こえにくくなっている。これは会員の活動が委縮することにつながるのか？ そこに対する活動やメッセージをもっと強調してほしい。

以 上